

北海道ブロック国体 競技・審判上の確認事項

競技委員長 石 崎 賢
審判委員長 浅 野 泰 弘

- 1 競技規則について
本大会は、平成 29 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則及び競技要項により実施する。
- 2 競技日程について
競技日程はプログラム記載のとおり
- 3 競技方法について
競技は全てトーナメント戦 3 セットマッチとする。
ただし代表決定戦のみ 5 セットマッチでおこなう。
- 4 使用球について
今大会男子はモルテン製カラーボール「V5M5000」、女子はミカサ製カラーボール「MVA300」を使用する。
- 5 競技開始時刻について
 - (1) 第 1 試合は 10 時 30 分とする。以降は追込み方式をとる。
 - (2) 第 2 試合以降は、前試合終了 10 分後にプロトコールを開始する。なお、A2 の競技は連続試合となるので最大 20 分休息を設ける。
 - (3) 開会式終了後は、第 1 試合の当該チームがコートを優先的に使用できる。
 - (4) 公式練習前のウォーミングアップでのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないよう注意（ボールキーパー配置）すること。
 - (5) 試合開始時刻を 15 分経過してもチームの選手が 6 人揃わない場合はその試合を没収とする。また、試合の進行状況により同一会場内でのコート変更がありうるので、注意願いたい。
 - (6) 待機チームは、前試合チームの挨拶等が終了するまでコートへの入場を禁ずる。
- 6 リベロについて
 - (1) リベロは、他の競技者と対照的な色のユニフォームを着用すること。
 - (2) リベロは 2 名までエントリーすることができる。リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることはできない。
 - (3) 各セットの開始前には、リベロは副審によるスターティングラインアップの確認が終わり、スターティングプレイヤーとのリプレースメントが許されるまでコートに入ることはできない。
 - (4) サービスのホイッスルの後に行われるリプレースメント、サービスヒットの前であれば拒否されないが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレースメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。この時のリプレースメントは認められる。
 - (5) リベロが 1 人しかいなくなった場合や、1 人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、試合終了までリベロとして再指名することができる。
- 7 ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）
 - (1) 競技規則通りの選手番号をつけた統一されたユニフォームを着用のこと。JVA が公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマスキングする。

- (2) パワーパンツ、アンダーシャツ等（サポーター以外）を着用する場合はユニフォームからはみ出してはいけない。
- (3) ソックスについては、くるぶしが完全に隠れるものを着用しなければならない。くるぶしが見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は禁止とする。ハイカットシューズの場合は、シューズから出るソックスを着用すること。色、デザインは、チームで統一されているものが望ましい。

8 チームメンバーによる軽度の不法な行為は、2段階で処置される。

- (1) ステージ1： ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
- (2) ステージ2： 該当する選手にイエローカードを使用して警告をする。この警告はそれ自体が制裁ではないが、その試合においてそのチームメンバーが（さらにチームが）次からは罰則になることを示している。これは記録用紙に記録されるが、直ちに罰則を受けることはない。

9 チーム構成及びベンチ着席について

- (1) チームの構成は、有効にエントリーされた監督1名、選手12名の競技者、計13名とする。
- (2) 代表者会議にて競技者を再エントリーすることができる。
- (3) 監督は公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員のいずれかの資格を有する者であること。ただし、今大会は北海道バレーボール協会公認コーチの有資格者を認める。

10 体育館の開館時間について

- (1) 各会場の開館時間は8時00分とする。
- (2) 開館後、開会式まではコート内で練習することができる。各チーム譲り合って使用すること。

11 練習コートについて

サブアリーナを練習コートとする。

12 フロアモッピングについて

- (1) コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。
- (2) ただし、エントリーメンバー以外のメンバーを最大2名クイックモッパーとして配置することを認める。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。
- (3) タイムアウト中、及びセット間にモップを使用しても構わない。

13 その他

- (1) コートオフィシャル（線審4名、点示員2名）の協力について
男子の第1試合は第1試合のチームが、女子の第1試合は開催地補助役員が担当する。第2試合目以降は前試合の敗者チームが行う。コートオフィシャルの際の服装は、できる限りチームで統一された服装で行う。また、試合途中に交代が必要な場合はセット間に当該審判員の下承を得て交代すること。
- (2) ベンチには飲料、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースは試合中ベンチには置かず、当該コートのフリーゾーン端に置くこと。
- (3) 各チームの応援は、他の観戦者の妨げにならないよう配慮すること。
- (4) 今大会の施設を利用する際、喫煙については各施設の利用規則を厳守のこと。